

沿岸海域に関する

この宣言は、トルコ共和国、アンタルヤ市で開催されたEMECS'99とMEDCOAST'99のジョイント会議において、50カ国余り約300名の参加者により採択された。

今回のジョイント会議は、閉鎖性海域の環境管理の向上を目的とする二つの組織、すなわち日本の瀬戸内海に面する神戸に本拠を置くEMECSと、地中海・黒海地域において中心的な役割を果たしているトルコのアンカラに本拠を置くMEDCOASTの二つの組織のもとに集う、政策立案者、科学者、教育者およびNGOのメンバーが地球規模の問題を検討するため共同で開催したものである。今回のメインテーマは「陸と海との相互作用：沿岸の生態系の保全」である。

我々は以下の認識に基づきこの宣言を行う。

EMECSとMEDCOASTによる沿岸海域に対するこれまでの取り組みは、その開始から10年目を迎えることとなった。

我々は、これらの活動により、沿岸海域諸問題の重要性を十分に認識するに至っている。今日、我々は自然の恵みあふれる沿岸海域を、広い視野の下で把握する新しい時代を迎えつつある。我々が現在この立場から沿岸海域について知る情報は、いまだわずかにとどまるが、次の世代の人々は、この新しい時代の、渚を散策し、海洋に船を乗り出し、海の資源を享受することであろう。

我々の親しむ沿岸海域は、これまで長く確立してきた境界線によって仕切られている。すなわちそれは、国、州、府県ならびにその他の自治体による管轄権のもとで引かれた政治的境界線を意味する。また、今日まで我々研究者は、川と湾、陸域と海域の生態学的特質を解明してきたが、それは生物学者あるいは水文学者、水利技術者あるいは水利管理者、政策立案者あるいは市民としての役割にとどまる。

しかし、新しい時代の海は、このような境界線や研究者の領域を越えるものであって、その間に境界は存在しない。すなわち今日、莫大な量の情報が自動監視装置によりリアルタイムで集められ、それらは土地の利用、および地球規模の気候の変化に応じて、日々刻々と海洋の変化を我々に告げている。

さらに我々は、衛星の画像から、一地方の沿岸海域で発生する問題が、地球規模の広い海域に影響を及ぼしつつあるのを知ることができる。今日、電子技術の発達によって、新しい情報が研究者・政治家・市民のすべてに平等かつ同時にもたらされつつある。このことは従来の境界線ではなく、科学技術によって海洋問題の解決が図られるべきことを意味する。すなわち沿岸海域は、昼夜を分かたず常に科学技術の監視下において把握されるべきである。

EMECS'99とMEDCOAST'99のジョイント会議参加者は、我々の子孫がこの新しい時代の海を航行し、海洋資源の利用可能性を追求しよう、可能な限り最良の船を建造しつつある我々に参加することを、各地域の関係者に要請する。このためにはこれまでの古い境界線を越えて協力し、国家体制や主義・主張あるいは社会生活における役割の相違を越え、共通の目標に向かってそれぞれの責務を遂行することが必要である。

アンタルヤ宣言

我々は、異なる価値観を融合し、きれいで健康な沿岸環境が我々の社会的・経済的豊かさに寄与するという新しい価値観に変えていく努力を必要とする。また我々は、研究の成果、英知の集積ならびに経験から学んだことがらを、最新の情報技術を通じて若い世代の指導者に伝達する必要がある。

このような見地から、国際的、国内的あるいは地域的環境プログラムに参加する政策立案者、科学者、市民が以下の行動をとるよう、ここに提案する。

1. 閉鎖性沿岸海域の環境管理が最新の科学的情報に基づいて行われるよう、研究者と政策立案者間のコミュニケーションを促進、向上させる努力がなされること。
2. 最新の電子技術を活用し、陸域と海域、ならびに人間活動の間に横たわる複雑な相互作用を解決する最良のモデルとして沿岸海域を位置づけ、より効果的な環境政策の基本として自然科学のみならず経済、法律、倫理、美学を包括する学際的アプローチを追求すること。
3. このためすべての市民に対し、直接的にあるいはNGOとの一層密接な関係を通じて、市民が沿岸海域を改善し、かけがえのない資源を維持するために何をなすべきかの情報を提供し、積極的な市民参加を促すことに最大の価値をおくこと。
4. 沿岸海域に関するデ・タや情報を取り入れ、インタ・ネットや通信教育を使用することによって、理科や数学のみならず歴史、文学、美術のカリキュラムを豊かなものにし、学校における新しい環境教育を創造すること。
5. 我々の知識と経験を内に留めることなく、等しく他と分かち合い、今こそ政策を実践に移し、理論を実践し、遅滞することなく行動により沿岸環境を修復、保全してゆく時であることを認識すること。
6. 陸と海の相互作用が政治的境界線を越えるものであり、我々の共有するグローバルな生態系の一部であることを認識し、地方、国さらに広い地域での連携を強化すること。

我々は、特に発展途上にある地域の沿岸海域の保全、修復に注意を払い、同地域の人々が我々の沿岸海域保全の取り組みに参加しうよう、緊急の支援を環境プログラムの実施にあたる関係諸国ならびに諸団体に要請する。

我々は、黒海沿岸域を含むすべての国々が、世界の沿岸海域のよりよい環境管理に向け、広域的あるいはグローバルな取り組みを行うことができるよう、このような支援を要望する。

ただちに取り組みがなされるよう切望して

トルコ共和国アンタルヤ市
1999年11月12日

(事務局仮訳)